
トリプルスズ エピソード 3

メイシア マルキュリア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トリプルスズ エピソード 3

【Nコード】

N8717C

【作者名】

メイシア マルキュリア

【あらすじ】

人類は宇宙から自己の意思を尊重されて滅亡してゆくのです・・・
・ ・ ・ だからこそ宇宙には救済という働きがあります僕達は自らの意思でその役をかったのだったね人が与えられた自由を自己満足に利用したとき宇宙の法則に反してカルマは現われるのです宇宙のアイを現せばカルマは消滅し無限創造へと向かうそれは宇宙神への仕え尽くしただけ人には自我というものがあるのでそれは容易なことではないのです

5-1 アラタマの光 (REBIRTH)

アラタマの初日の出に祈りをこめて

ボクは深夜にこちらを立ちます

明日10時にワカヤギさんに会おうと思います

桜木町辺りでどこか良さそうな場所がありますか

駐車場のあるファミリールレストランとかがいいですね

レイ

レイ

ワカヤギさんは横浜駅東口の中央郵便局近くにあるコーヒーショップで待っているということです

車は東口の郵便局付近の路上パーキングに停めることができます

場所はわかりますか

リン

行けば思い出すでしょう

ナビもあるから大丈夫

時間は10時に着くようにします

レイ

よろしく願います

ワカヤギさんはあなたと私の話題には触れようとしません

今日は豊川稲荷と浅草観音へ行ってまいりました

毎年恒例のことです

人が自分の勝手都合を神様に手を合わせて願う姿に胸がいたみました

神様の歎きが聞こえてくるようです

神様はいつも陰になり光になり

護り導いておられることにどうか気がついてほしい・・・

リン

リン

人は神様に祈って願いをかなえてもらうというご利益信仰を当り前

としているのです

人が神の役に立ちその働きとなることが真実であることを知らないのです

それとワカヤギさんにはある決意があるようです

でも神はアイ氣道をしてそれをひっくり返すおつもりようです

キミはボクとともに過ごす時の事を想い心安らかにいて下さい

レイ

はい・・・明日の夜を想うと・・・

高鳴る鼓動

熱くなる胸

震える魂

あなたに逢うまえにわたしとけてしまうかも

リン

キミが送ってくれたアラタマの日の出のフォトはボクに送られた方は太陽に真横一直線に光が奔っています

マサミさんの方には縦一直線に光が奔っています

ボクのフォトのほうはずかに先に撮られたものようですがリンは気がついていたかな

レイ

マア

新たな驚きの事実・・・

確かに何枚か撮影したうちのあなたに送ったほうが先に撮ったものです

縦と横に線が入っていたのは知っていました

あなたとマサミさんのことを思い選びました

リン

2007年1月1日アラタマの初日の出は発霊の出

宇宙なる神の御宣言

『地球世界の天地は人の世と神がアイアウ』と云う宣言
アラタマの御世が始まると言うこと

そして2日と3日で ヒ フ ミ

その後に現われの世の变革が興ってゆくのでしよう

2日から3日にかけてのキミとボクの働きだね レイ

ヒイフウミイでアラタマの御世に通ずらん神のコトノハ

怠け者のリンに務まるのでしょうか リン

キミは身と心をボクに委ねていればいい レイ

それならばわたしはただ直向きに愛するあなたにすべてを委ねます

リン

明日にはキミに逢える

ボクはただそれがうれしい

キミの目を見つめキミの手を握りキミのすべてにキスを

キミとボクは愛しいひとつになる

そして銀の鈴の鈴音を鳴らし神が金の鈴音を涼やかに響き渡らせる

レイ

あなたと私は山と海

火と水

太陽と月

愛しアイ慈しみあうオノコとオミナ

アイあるのみですね

私はあなたを待っているわ リン

明日ボクはキミに逢いにゆく レイ

月のアタリは清らかに澄んでいるのにその前後にはカルマの雲が垂れ混めています

カルマの雲はやがて月の光にかき消されてゆくでしょう
ほら

今は月の回りの雲は消えて無くなろうとしている レイ

美しい夜明けを待つ朝

静かに力強く厳かです

あなたは泉・・・アステイの泉

無知で愚かなわたしの魂に泥^{ナス}む穢れを清めてくださるの
わたしを再び還らせてくれるのね

レイ

わたしのファーストラブ

わたしはあなたを待っています

ワカヤギさんとお話が済みましたらメールをください リン

今はヨコハマです

ワカヤギさんとのお話は一時間ほどで済むでしょう レイ

時間があるようでしたら少し横になって休んでくださいね
後でわたしの膝を枕にあなたを休ませてあげたい・・・

ワカヤギさんは出かけてゆきました

彼の心に神の心が響きますように リン

それからボクはワカヤギさんと会ったのです

ワカヤギさんとリンは籍は無く同居別室暮らしとはいえ

リンは今も彼の家に住んでいて

もとは彼との結婚生活のなかで二人のお嬢さんもおられるのです
彼にしてみたら当然自分の妻と思っていることでしょう

リンからすればとくに心は離れていて子供達のためと彼への義理

をはたす為に彼の家に住い母を演じてきたのですがそれを勘違いしているのです

彼はやがてリンの心もうちとけて籍も戻すだろうくらいに考えているのですから夫と妻の感知感覚には開きがあるものです

今年高校生になるお嬢さんが生まれた後くらいから彼の性の要求を受け入れられなくなったとリンには聞いています

余に言うセックスレスです

夫婦のセックスレス

原因は当たり前なことなのです

でも人は何故そうなるかを知らぬようです

またわかっていてもどうしようもないのが現状でしょうか

現代は離婚を切り出すのは大概女性のほうからでしょう

世の離婚率は今後もふえる一方なのでしょう

ボクはワカヤギさんにはボクとリンの交際の理解を求め一番よい形をすすめるつもりでした

そうでなければリンはやがて家を出て娘さん達も大人になれば家を出てゆくことになるでしょう

誰にしても結婚したとて夫や妻以外に好きな異性が現われないとは限りません

結婚相手を所有せず自分以外の異性との交際を認めて関係を共有しともに歓びをわかち合うことができるならばとてもステキな関係ができるのです

自分にも恋人がいて妻にも恋人がいる

お互いに幸せや歓びをわかちあい

相手を所有ではなく人として尊ぶということ

もちろんお互いに家庭があるのだから大人としてしかるべき恋をしなければいけません・・・スマートでステキなおトナの恋を

しかしワカヤギさんとは残念ながら話にはなりませんでした

彼は只に自己の保身と建前と抗議に尽きるのです

自分のおかれている立場も状況も彼には何もわかってはいないので
すね

リンの・・・

彼女の気持ちなどただの一度も考えたことも無いようなもので

自己の一方的な判断と認識と思い込みのみでありました

これではリンの心を汲むこと

いいえ人の心を汲むことはできないし

一生涯を生きて彼は何一つもわからないことになるでしょう

気の毒だけれど彼の未来に待っているのは孤独という世界

自らその世界を求めていることに本人は気がつかないのです

そして彼との話しは5分ほどで終わったのです・・・・・・

リン

彼は帰っていったよ

彼は3行しかエピソードを読んていないと言っていた

残念だけれど話にはならなかったようです

家に戻ったなら娘さん達の本当の声を聞いてごらんさいとだけ伝えました

このあとボクはフリーです レイ

それからキミとボクは思い出の地で逢い

2日から3日にかけて愛し合った

キミと再会した場所で待ち合わせて

食事を済ませてトリアノンへ

14時にチェックインをして

キミとボクはアステイでお互いの体を清めあいそしてベッドへ・・・

・・・

キミとボクは時を忘れたもののように・・・・・・長く永く深く々々愛

しあった

クチビルを重ねあわせて

ボクはキミのカラダのひとつ々を慈しむようにキスを繰り返してゆく

クチビルからウナジ

ウデからユビサキ

ミミタブに戻ってキミのワカヤルムネ

そしてセナから舌を這わせてウエストとベビーマウス

柔らかなヒップをなぞりモモからその内側へ

そしてスネからアシのユビサキ

やがてキミのカラダの中心に

ハナビラを舌でなぞり舌をさしいれてゆく

クリスをクチビルではさんでははずし舌でコロガシナゾル

何度も々

その動きに応えるようにキミは悶え小刻みにフルエ女神の唄をウタウ

クリスを唇で挟んでは小刻みに震わせプルンとはずし舌で剥ぎ取る
ようにころがしてゆく

キミのミアシをWにおおきく広げてツボミにも舌をさしいれて愛撫
してゆく

キミは応えるようにボクの体のシンを口に含み慈しんでくれる

シンを口に含みその先の穴に舌を入れこむようにして舌を上下させる

ツツミを口にホウバリ味わうようにもみ碎く

ボクはじつとしていられなくなって

キミを膝の上に乗せてハナビラの中へシンを差し入れてゆく

ボクはキミを膝の上にのせて休むことなく前後上下にグラインドさせ
てゆく

時に大きく激しくそして深く小刻みに

ウテルス

そしてボクのシンの先はキミの子宮をえぐるように掻き上げる

ハナビラの中の繊細なヒダを掻き上げ掻き崩すのだった

キミのハナビラの蜜はボクの膝から下にまでつたい溢れて
キミとボクの汗とまざりあい

その蜜によってキミはボクの膝の上をすべるようにユラレテ
自分では止めることもできずにボクの為すがままにユライユラレテ
ユク

キミは普段では考えられないほどのあられもない姿で仰け反り
声を上げてナキ悶えてゆくのだった

キミは膝の上で何度も失いかける意識とソラを見つめるような空ろ
な目でエク스에達していった

キミが達したすぐあとからもボクは止まらずにキミをユサブリ

キミは膝の上でさらに激しくユラレテさらに高いところに昇ってゆく
時にボクにしがみつき渦の衝動に耐えるように戦慄き悶え

またつかみ所の無いソラの中を泳ぐように昇ってゆく

ボクはキミが仰け反るごとにキミを抱きよせてキスを

それは回を重ねるごとに深く高く激しく濃密になってゆくようだった

ボクは朦朧とするキミをベッドに寝かせさらにキミを擁きカラダを
重ねていった

時に激しく突き上げてときに穏やかに引回すように

ボクのシンに固定されたキミのカラダはゴム鞠のようにベッドの上
で浮き沈みする

ボクが激しくキミを突き上げ突き沈めるとキミの体はベッドの上で
ポンポンとゴム毬のように弾むのだった

キミは耐えがたい感触を耐えるように身悶えして

全身を引き攣らせ絶叫をあげていた・・・

意識が遠のくキミを引き寄せキスをするときキミは応えるように舌を
絡ませて

空ろな瞳でボクを見つめていた

目と目をかわしキスをかわした

そして深夜の0時を過ぎる頃

渦の中に昇っては落ち落ちては昇るように

キミは深いエクスタシーに達していった……

30分ほども続いていただろうか

キミは鈴のように全身をフルエフルワセテ

とめどなく昇りつめていた

そのとき遙か遠くのどこから涼やかなる鈴の音が鳴り響き

それは微かにそして揺るぎなく心の奥からなのか天空からなのか

キミとボクの全身全霊に響き渡るのです

キミもボクも涙が止め処なく流れて止まらなかった

その時

不思議な天空のざわめきが聞こえるようだった……

神々のざわめきが

金の鈴鳴りの音色を

魂の……宇宙の奥から感じた瞬間だったのです

キミを擁きつづけた10時間

人にこれだけ出来るものなのだと自分でも信じられないような経験
でした

あの後にはキミも膝があわずにしばらく立てなかったものね

ボクもしばらく股間節がおかしかったくらい……

きっと誰にも信じることはできないねとキミとボクは笑いながら言
葉をかわしていた

大宇宙のアイがこの地球世界の肉体を持つ男女の上に

初めて現われた瞬間だったのです レイ

朝方あなたを想いあなたの心に合わせて眠りにつきました

気がつくと外から聞こえる小鳥の戯れる声で目が醒めたのです

小鳥が3羽

私がメイシアさんを認められた証でしょうか

私の心は定まったのかな・・・

心地よさにベッドから出られないの マサミ

3羽は3和

今の君の心から邪な響きは聞こえて来ない

キミはボクを所有したいという思いから離れて

恋しみ慕う気持ちに変わりかけてきたのだね

やがてのうちには人の上に立つことの不快さが感じられて来ること
でしょう

マサミさん・・・おめでとう ハルキ

ありがとうあなた

起きて子供達との一日を始めます マサミ

アイズに戻られたならマサミさんの笑顔があなたを出迎えてくれる
ことでしょう

わたしは醒めない余韻を大事にしまって家に帰ります リン

町や人々の姿は昨日までとなにもかわらないはずなのに

それが存在として感じられなくなっている

存在は太陽と雲と空

そしてキミだけ レイ

街に琴の音が流れています

ラヴが流れているお店があつてふと立ち止まっています

時は止め処なく流れてゆくけれど

あなたのことだけを心おきなく見つめ愛をかわしあいたい・・・・・・・・
あなたとアイしあう時だけがわたしの永遠

そして私の真実

いまエピソードを読んでいます

もう少しあなたとの余韻に浸りそれから家へ戻ります

リン

ボクの胸のうちにもラヴが流れています

鼻腔をかすめるキミの香り

ボクはアイズにそしてキミはヨコハマ

天空に事は成就なされたのでしょうかとお尋ねすると

次の瞬間に雲間から陽の光が落ちてきて

わずかな間ボクの車のまわりが輝き明るくなりました

レイ

気をつけてお帰りください

神の事運びは成就なされたとわたしにも知らせがありました

リン

守護ということ

一つの単語の中に二つのマモリが現れています

守り護る

あなたがわたしを『守る』というのは寸分たがわず神のコトバを受け
全身全霊で私を慈しみアイしてください

私は全身全霊のあなたのアイを受けてその言葉と躍動を
目と心を放さないでじっと見つづけ感じつつける

心あわせて応える

男と女はマモリアイ

言霊を神から授かりあなたがわたしにわたしはあなたに伝えあい応
えあう

それがアイの相であるのだと女神様スガタに教えていただきました

初日の出の写真の中に光り輝く女神様のお姿が現われていました
そろそろわたしも家に戻ります

リン

きつとキミに働かれておられる女神様でしょう

キミは最近ヤマト風になってきているものね

ボクは2日から3日にかけてずっとキミという女神を擁いていた

高速道路を走るボクの目の前には雲が3本から7本へわかれて現われています

宇宙なる神がミマモリの中で地球世界の進化神化が始まったようです
2007年

人の世は神様ミマモリの中で進化神化が始まる年

2は人の世をあらわしていて0と0は神と神々

7は無限進化をあらわす数

だから2007年の一日は月曜日から初まるのです

ツイタチのツイは究極という意味もあります

無限進化の始まりが発つ

ツイがタツということ

平成の10年までは天地の創造期間

11年から19年までは人の世の期間

平成の20年からは神世の幕開けだね

レイ

進化が新歓となりますように リン

きつとなります

雲の形がキミとボクの寝姿を現わして脚を合わせた形で現れています

今日デビューされたMAYさんのサライの風

キミがボクに送ってくれた歌 だね

今頃キミは家に戻りワカヤギさんと家族に責められているのではな

いだろうか レイ

家に戻るとリアは単刀直入に『ママ 昨夜はどこに行ってたの』と・

・・・

夜にお風呂で話すねと伝えたら『わかった』と言っていました
タミオさんはできるだけだけさりげなくしようと思っ
ているようで何も聞いてはきません

当らずさわらずのつもりのようです

わたしの気持ちは決まっていますのでリアには二人にな
ったら話します
夕べあなたに少し話したテルさんに帰ってきましたとメ
ールをしたら
これから家に会いに来るそうです

妙な形ですが会ってお話する状況になりそうです

このメールを書いている途中でアマミの姉から電話が
ありました

「ハルキさんときあうなら今すぐにワカヤギさんの家
を出て子供達にも会ってはいけないと・・・アマサキ
の家とも縁を切りなさい」
そう告げられました

タミオさんはトモミが家にも帰らないであなたときあ
っていると
姉に伝えたよ

うですから予想通りの展開ね

まあこんなものでしょう・・・

さてこのあとはどうなるやら

神様のなさり方に遵うのみ

リン

MAYさんは韓国出身の歌手

サライの風

キミがボクに送ってくれた歌

帰る途中に曲がカーラジオから流れてきたんだ
聞いていてボクは涙が止まらなかった

キミの置かれている状況も感じていたよ

レイ

サライの風

アにアレテ君守りゆけ

わたしも聞いてみます

あなたは無事に帰り着いたようですね
今は食事の支度をしているところですよ

テルさんにもエピソードを読んでもらいました

詳しくは後ほど リン

月明かりは地上の人達を分け隔てなく照らし合わせている

キミを傷つける風が在ることが何よりボクは堪えがたい

キミの子供達はいずれの時にはわかるでしょう

キミがマサミさんにメールをくれたように

彼女は戻ったボクにご苦労様と言ってくれました レイ

あなたがいうように人は自分と自分の想いが中心なのです
だから世の争いは終わらない

テルさんにエピソードを少し呼んでもらったら『メシア』と書いて
いる所がわたしが怪しい宗教の集会にでも行っているのかと思った
ようです

それは誤解ですと説明しましたら『まあ全部読んでみないとわからない』
というてくれたので読んでもらっている所でした
夕食の時間になり結局ゆっくり話せずにお帰りになりましたが
後で感想を送ってくれると思います

タミオさんは何が書いてあるんだと詮索活動

読んでみたらと私が言えば『俺は読まない・なんで本当のことが言
えないんだ』と捲し立てるばかり

まったくお話にならないわ……

十五夜お月様

何がそんなに哀しいの

人の世を照らせどもワレノヒカリ人の心に届かぬと

わたしが月に代わって祈ります

あなたのヒカリが世を染めていつかお月様が真ん丸笑顔となりますように リン

神様は願い事をする存在と思っている方々にはエピソードはあまりにもかけ離れたものなのでしょう

それも現段階での事実です

私も以前はそうであったように神様どうぞ私達の未熟をお赦しください マサミ

ありがとう・マサミさん

ハルキ

5-2 逆臣の汚名

その日ボクはアイズにもどりマサミさんと子供達を連れてマサミさんの実家に行きました

その夜は風もなく静かな夜でした

テレビの正月番組で明智光秀候のドラマがありました

その内容は今までの解釈とは違い光秀候が主君信長候を本能寺で討つに到るその背景と光秀候の葛藤が描かれておりました

そのドラマには逆臣として今に伝えられる光秀候の弁解を表わしており

光秀候が単なる逆臣ではなく
見方によっては真の忠臣であったことを表わすくだりが含まれたものでした

日光東照宮に到るいろは坂の8合目ほどの開けた敷地に明智平という場所があります

この名は徳川3代に渡り仕えられた天海上人が命名されたものと云われています

天海上人が随風と名乗られていた頃

信長候の青年時代家康公が尾張に人質として置かれていたそのときからかわりをもたれていた人物で当時の歴史の背景をすべて知っておられる方でありました

その天海上人が日光東照大権現なる家康公の菩提が置かれたその近くの場所に

明智平と命名されたには訳があるとボクはずっと考えていました
そこには光秀候が単なる逆臣といえない何かがあると・・・

明智候の晴れない胸の痛み

それは戊辰の役にて逆賊扱いされた会津藩の藩主家中郎党はじめ

庶民の方々までの心中とも重なり

その胸の痛みが堰を切ったようにボクの心に流れてくるのでした
世の誤解による無念が堰をきったように・・・

マサミ・・・くるしい・・・助けてくれ
うわああああ・・・

テレビを見ていたボクはその怒涛のごとく流れてくる感情想念の渦
に耐えられず

とにかく家を出て車の中に乗り込み

その中で想念に引き回されるように呻き嘆く自分があるのでした

そして息も絶え々にリンにメールを打ちました

その間にも止め処なく嘆きの想念は流れて止まず

ボクは車の中で全身全霊をのた打ち回らせていた・・・

リン

さっき日が3日から4日に変わる頃過去の人類の嘆きと悲しみと苦
しみ傷みを

神はボクに背負わせてくれたよ

皆自ら進んで神の贄とはなり

その成し難い人生を歩んだものではあったのだけれど

やはり心は傷んでいるのですね

そしてそれは今の今でも変わらずに紅蓮の炎となって

地球世界を取り巻いているんだ

その想いがボクの胸に流れて現れて来たんだ

ボクは狂ったように呻き 悶え 嘆き 悲しんだ

神は救い取られるお約束をなされた

皆の傷んだ胸の想いはすべてわが為の事であったといわれて・・・

キミの見た月はそれを表わしたものだっただ

今もボクは絶え々になりながらこのメールを打っている

マサミさんが側にいてずっとボクの手をにぎってくれている

レイ

あなたと別れてからわたしの胸の傷みは消えていました

レイ

あなたの傷みはのしかかる十字架のようかも知れません

今朝わたしが言葉を無くしたのはあなたのこれからのすべてを受け入れると神様とお約束したからです

その誓いを簡単に言葉にしてはいけなかった為のようです

レイ

離れていてもリンはいつもあなたとともにいます

リン

リン

今は好んで過てる人達の想いがながれてきてその過ちを神に詫びていました

金銭・地位名誉・自己満足に奔る人達の過ちを詫びていました
墮ちる運命の人達が救われるように神に詫びていました
神は何とも言われませんがきつとお救い下さるでしょう

レイ

レイ

私達には尊い使命があります

あなたとともに祈っています

心ある人に届く事を信じて

リン

ボクはキミが置かれている身の上を案じます

これからが素のまま海を漂うようなそんな時なのでしょう
レイ

あなたと私は白日に晒されつつあるのですものね
漂うもまたよし

あなたとならばどこまでもの心境です

わたしのことは心配しないで

あなたという守りがありますから大丈夫

リン

リン

今もボクは好んで過てる人達の未来の痛みを感じています

それはきつと神がお救い下さるアカシでしょう レイ

あなたが傷みをお引き受けになるから

わたしには愛と慈しみだけになってしまったわ

わたしは過てる人を嫌いになることは出来ない

たとえ絶縁されてもナイフで切られても愛することはやめられない

未熟な魂も成長へと導いて差し上げたいの

わたしにできるのであれば リン

神はお救い為さることをお約束されたようです・・・ レイ

安堵・・・

皆様にどうか安らかな眠りを リン

今すべてはボクの胸に・・・

今迄地球を救おうとされた宇宙人類方が現われて

報えなかった親心としての嘆きを感じていたのです

三時十五分にすべてはボクの胸を通じて宇宙なる神がお引き受けな
されました

今朝は安らかなる眠りをいただいたよ

キミが癒してくれているからだね

愛している・リン レイ

今朝の空は何本かの雲が道を探しているように縦横にはしっていま

した

わたしは嬉しかった

迷える雲に道を示すことが出来るのですねと希望が湧いてきたのもう一つ

居間に置いたままだったエピソードの本を4階に持って上がろうとしたら

タミオさんに『その青い本貸して』と声をかけられたの リン

神よ・天地自然森羅万象万世万物のあらゆるもの達・あらゆる人々にあなたとあなたの御心がアラワレテまいりますように レイ

神の祝福の光りは闇を引き裂いて大日輪の気高きスガタをあらわしています

神の光りの矢が心ある人に映しだされて

神のお志が実現されますように

拙きわたしの五体と命を役立てることが出来ますように・・・

レイ・そしてマサミさんに感謝の祈りを捧げます リン

リン

先ほど山鳥がボクのところへ直訴してきたんだ

小さな動植物達の歎きもお忘れなきようにと・・・

ボクは神に小さな動植物達の歎き悲しみ苦しみ痛みをも

お引き受けくださりますようにと祈っていました

サライの風はシングルで十日に発売されるそうです

キミが昨日くれたメールそのままの歌

キミもきつと驚くよ レイ

すべてのイキトシ生きるもの達も取るにも足りないように見えるよ
うな小さな命も

そのすべてが地球の一員なのですものね
サライの風

10日の発売日に探しにいくわ

白銀の 神のお山にサラヒなる 風吹きぬけて道あらわるるかな

リン

神は復唱確認

人はウツシミの世に肉体と魂を置いてある限りいかな神の御心と奉
じ振る舞えど

それが是か非かは危いところ

されど神は空に雲に光に万物にその事物への復唱確認を現わして下
さるのです

最近ではアーティストの歌などにもね

受ける人の心に憤みあれば神は必ず復唱確認の事象を現してくださいさ
るのです

サライとはペルシャ語では宮殿の意味だそうです

（薩来）と書くのですね

レイ

なるほどサライの意味はペルシャの宮殿なのですサライね

わたしは降り積もる雪を吹き散らす風のサライことを凌サライと考えていました

またオサライと意味をかけて

まだまだ覚えることもたくさんあるようです

拙きものゆえ大目にみてください

いつも復唱確認

あなたの後からわたし

リン

キミの言うこともそうだと思います

オサライは復唱確認だからね

キミとボクのやりとりが天地を明かしてゆく

レイ

辞書を開いていたら『妙貞問答』ということばが目にとまり
そこにあなたからのメール

1605年に妙秀と幽貞という二人の尼さんが対話型式でキリスト
の教義を説いたとありました
なんだか私達みたいね リン

神の働きは往相と還相

キミがボクに問いボクがキミに応える

神の千恵はそこに現れてくるのですね レイ

今やマサミさんも加わって

大きな力が働きつつあるのを感じます リン

やがてワカヤギさんが加わる事でしょう レイ

期待が1で諦めが9の心境です リン

リン・神はオセロゲームが得意と言ったじゃないか レイ

そうね・わたしも傍観するわけにはいかないものね

彼が変われば大きなウネリを呼ぶと言われているもの

神に祈り神の為に働くわ リン

きっと彼も変わるだろう レイ

わたしはあなたを信じます

そして彼のために祈ります

空に輝く今宵の月の美しさ・・・
イザヨイ

十六夜の 月に生まれし吾を愛で 奏でる唄は銀の鈴音 リン

十六夜の月はイザヨイの月

イサヨウは猶予という意味

まだキミは家に着いてはいないだろう

キミの家では不穏な響きが手薬煉引いて待っているようです

キミは胸のうちで神よ赦したまえと人の過ちを神に詫びつつけるのです

そして相手の為すがままに

ワカヤギさんにはキミの心を取り戻したいと思うならば

エピソードの内容を真剣にハルキさんと話し合ってくださいと云うのです

ボクは彼からのメールを待っています

レイ

わたしは何があっても大丈夫

心配しないで

今夜の月はわたしにとっても優しいもの

もう少しで家に戻ります

リン

エピソードを読みました

トモミが思っていたことが伝わりました

トモミの心の傷が自分の傷となっています

本当なら自分がやらなければいけないことをハルキさんがやってくれていたんですね

エピソードを読みこれからは自分がトモミを守って行こうと決意しました

もうあなたの力を頼らなくても大丈夫です

あなたも家族のために過ごしてください

最後にこれからもトモミのよき理解者の一人でいてください

トモミとのことを見つめ直し最全を尽くしたいと思っています

ワカヤギタミオ

タミオさんと話したわ

彼があなたにメールを送ったあとから疑問が湧いてくるみたいです
何かの船みたいなの……花を積んで……

江戸時代 荷下ろし 帳簿??????

『何か映像が 見えるような』と

なにやら想い出している様な……

エピソードの本はタミオさんが持っていたいというので差し上げました

自分が変わらなければ家族の幸せはないと
言葉にはしていましたが

タミオさんはわたしを守る守れるというので
無知の傷みがナイフのように突き刺さり

涙するわたしを『どうやって守るの』との問いには答えられず
それならばハルキさんに聞いてみて

わからないことを素直に聞いて欲しいと伝えました……
彼は今日も仕事が休みなのでもう一度読んでみると言っていました
お次はどのような展開になることやら リン

ワカヤギさんへ

キミがトモミさんを守ると言う言葉は

彼女にはおまえを縛って俺の思い通りにしてやると言う風にしか聞
こえていないでしょう

あなたの想いの言葉は事実そのように言っているのです

あなたは彼女を自分の自由になる存在として所有したいのです
所有は相手を自分の思い通りにしないと気がすまない傲慢な心から
現れてくるのです

あなたが彼女への所有権を放棄して彼女の翼となり垣根とならない
限り

もはや彼女があなたを見限るのは明らかです

ボクは彼女を守ることはできません

只に彼女を尊び慕い尽しているだけなのです

それが彼女の翼となり光明となるのです

このメールをトモミさんに見せて聞いてごらんなさい

ハルキ

ミカワ

ワカヤギさんにメールを送りました

彼に送ったメールをキミに見せなさい

そして意見を聞いてごらんと書いてあります

レイ

地球の嘆きや戦争から宇宙や地球をトモミを守る方法がありますか

T a m i o · W a k a y a g i

ワカヤギさんはボクを舐めきってマンガの主人公かなにかと思っ
ているようだけれど

ボクはキミがどんなに背伸びをしても届かない所にあるのです

ボクに真向かい真剣にメールに応えるならばそれもやがてわかるで
しょう

キミの送ってくれたメールと

このメールを彼女に見せて聞いてごらんなさい

ミカワハルキ

あなたからのメールを彼から見せてもらいました

『これだったんだ俺は』と何かに気がついたようです

タミオさんは自分が傲慢なのか？

それはトモミにだけじゃないんだと言いつつ

ブレテユレナガラわたしに確認を求めています

今はあなたへの返事を書いています

リン

あなたをなめたりしてません

トモミを惑わすひどい人と思っています
トモミを返してもらいたいと思っています
トモミは物じゃないけどあなたから取り戻します
あなたのメールがヒントになりました
あなたはトモミを救ってくれたと思っています
あなたを侮辱したものではありません
傲慢と見られるとも ワカヤギタミオ

キミがいくら自分を正当化して弁解を繰り返しても事実は変わらないのです
そして相手に与える影響と結果はやがて己が身と心に受けるのです
トモミさんがキミの家にいるのは子供達に対しての義務感とキミへの借りを返すため
それが終わると彼女はキミの前から去ってゆくでしょう
そして間違えてはいけないよ
ボクが彼女を奪っているのではない
何故ならボクがいなかったならもうとくに彼女はキミの家を出ていたのだから

平原綾香さんのジュピターの歌詞に『夢を失うよりも悲しいことは自分を信じてあげられないこと』とありますがこれは今のキミの姿
キミには一万年かかっててもこの歌詞の意味はわからないだろう
キミのメールとボクの返信を彼女に見せて聞いてごらんなさい
ミカワハルキ

歌と歌詞はわからないけど自分は信じたい ワカヤギ

キミがキミを信じたいという想いはわかるけれどそんなものは犬でも喰わないよ
キミは自分自身もキミ以外の人も物扱いにしているのです

人はヒトなのだから物扱いされることはやがて堪えられなくなります
廻りの人もやがてキミから離れてゆくだろう

キミの未来に待っているのは何だと思う

それは孤独という名の生き地獄だよ ミカワハルキ

今日のように澄渡る空もある

大宇宙の営みに気がつくタミオさんになりますように・・・

レイ・富士山が見えています リン

富士山はボクとキミの象徴

彼には一頻り苦しいところでしょうがそれも禊祓

まあ積もりに積もった垢をキミとボクで洗っているような感じだね

レイ

今日は大きく揺れるタミオさんに車で送ってもらいました

彼も富士山と一緒に見ていたのよ

そのあとは運転が雑で乱暴になったわ

変わりたい・・・でも・・・

わたしは1万回だめでも1万1回目のタミオさんが見たいと伝えま
した リン

ボクはキミからその言葉を聞きたかった

彼のブレテ揺れる癖は過去世から変わっていないね レイ

自分の心のカーテンが少し開けられた気がする

そんなことを今朝の富士山を見て感じる

ハルキさんあなたを好きではないけどこの富士山を送ります

ワカヤギ

ワカヤギさん

あなたの正直な言葉が聞けてボクは嬉しい
キミの正直な胸の中はボクを煮て焼いて八つ裂きにしても足りない
くらいなものでしょう

毎晩ボクを呪咒するキミの怨念が聴こえているからね

だからボクはキミと会った1月2日にキミに刺されてあげようと
胸を磨いて待っていたのさ

だがキミは臆病風に吹かれて体裁だけを取り繕おうとした
タミオさん

思い違いをしてはいけないよ

ボクがいるから彼女が変わったのではない

1998年の今から8年前に彼女がボクのお店に初めて来たときの
それ以前に彼女はキミに愛想をつかしていたのです

過去世のキミは未知の大海に単身で乗り出す勇気をもっていた

現在のキミは風に吹かれて今にも木から落ちそうになっている巢を

一生懸命に食止めようとしている小鳥のようだね

今のキミがどんなに頑張ってみても風の勢いは止められないでしょう
ボクとトミさんは特別な存在

キミの目が開けばやがてそれもわかるでしょう

ミカワハルキ

あなたとトミがどんな関係でもよいのです

もともと一緒だったんだから自然でしょう

トミは私の所有物ではないのです

今朝の富士山はトミが車のなかで綺麗な富士山と声をあげたので
私も見たら自分の心のもやもやが解けたように感じて富士山が自分
を映したものと感じたからです

ワカヤギ

キミは食えない男だよ

キミは良い人と云う衣を纏い理解者という仮面をつけて

口からは嘘八百を並べ連ねている

キミが本当にトミさんの所有権を放棄したのならば

ボクとトモミさんの関係を心から祝福しなければならぬのだよ
それが今のキミにできるのだろうか

ボクとトモミさんはこの宇宙の完全なアイを地球の身と心で現わした
キミが数千年かけても出来ない事をね

だがキミからすれば殺してやりたいと云うのが本音だろう

殺したいなら殺してやりたいと言えればいいのに ミカワハルキ

確かに気に入らない人だ ワカヤギ

キミは余程甘やかされて育ったようだね

だから本当の愛がどのようなものかもわからなくなってしまっている
キミが愛と勘違いしているのは溺愛なのです

そんな風に育てられ己で鍛えもしなかった結果が現在のキミだね
臆病者のキミなのさ

トモミさんは女だけれどキミなどとは比較にならないほどの勇氣を
もっているよ

だから彼女がもしも決断したならば時間はかからないだろう
ミカワハルキ

トモミは確かに私なんかより勇氣がある

私は臆病者

トモミの決断はとってもこわい

家庭が壊れるのがこわい ワカヤギ

ワカヤギさん

今度は泣き落しですか

キミはあんなに僕が守ります僕が守ってゆきますとおっしゃるので
キミの家にはトモミ人形リア人形ミア人形というのがあるってそれで
も守っとくのかと思っていましたよ

体はキミの利害と云う鎖で縛れても

心までは縛れないのです

キミと家族の繋がりには利害と子供達の父に対する同情心であるばかり
真実の心の繋がりなどは初めからなかったのだよ

すべては目に見えない心が先で見える現れの世界には一定の時間の
後に現れてくるのです

キミの家族もその寸前

今までであったように見えるのはボクが働いていたからだよ

ミ

カワハルキ

家にいるのは人形ですか

ワカヤギ

キミは文章も読めないのだろうか

もう一度読んでごらん・・・

キミは下らない揚げ足とりを考えるよりも自分の過ちに真向かった
ほうがいいと思うよ

キミは本気でボクに当たってきてはいない

逃げ場を残してはボクの真の心はわからないでしょう

キミもやがてにはボクが誰よりもキミとその家族を案じてあること
に気がつくでしょう

アイズは霧が立ち込めて前も見えない程

ワカヤギさん

あなたも立ち込める霧の中にいるようだ

アア 人類の迷妄を晴らしたまえ

レイ

レイ

わたしはいつも言葉足らずね

心でいつもあなたに神様に話しかけているのに・・・

あなたがタミオさんに送ってくれたメールを見て言葉にしてはつき
りと言うことも必要なのだということがわかったわ

何事にもオサライが大切ですよのね

リン

5-3 十字架 (RESOLUTE)

あなたはお仕事へ行かれるお支度をしているところかしら
わたしは今日から3日間はお休みなので少しのんびりしながら
2日から3日にかけての今迄の事を書いてみます リン

リン

ボクはまどろみの中にいたよ

ともすると嘆きの中に入りそうになるのをキミがくれたベールが
かわりに涙を零してボクを包むんだ

ベールは布のように思っていたのだけれどキミ自身だったんだね

レイ

わたしに宿った新たな神様は

初日の出の時の私の祈りをお聞き下さったのですね

レイとリンは地球にいただいたこの身と心でアイを成就させ

神にいただいたこの命と魂を役立たせることができますように

わたしの嘆き悲しみ苦しみ傷みを引き受けると言うレイのすべてを
受け止められるわたしに

愛するレイを癒すわたしにさせていただきたいと祈りました

あなたはわたしの傷み哀しみをすべて引き受けて下さったのです

私にはカルマで苦しむものの声なき声が聴こえなくなり愛と慈しみに
溢れ穏やかな心となりました

今日は家族とテルさんとで万葉に來ています

テルさんは手紙を書いて持ってきてくれました

内容は・・・あなたに伝えることは出来ない・・・

雨の降る空を見て湯に入っていました

どんよりとした黒雲から冷たい雨が氷のように降りしきる

人類すべてが認めない！と言われた言葉が私の胸にコダマしています

あなたもわたしもこの身と魂を剥き出しにされている
カルマの嵐が胸を吹き荒れています

レイ

それでもわたしは人を愛します
降りしきる氷の雨を受け止めて

アイで包み暖めて家族にテルさんに返してあげたい
タミオさんはもうあなたからはメールはきていない
もう返事の必要はないだろうと言っていました・・・

夜になると雨は止み月が静かに照らしています

例え孤独の嵐に晒されても

わたしにはあなたがいるだけで生きていける

あなたは慈悲わたしは慈愛なのですもの リン

リン

神は御計画を変えられたようです

ボクが猶予を戴いた時は既にこの事をご存じであったのでしょう
どこかで無駄ですぞと言う声があったもの

ボクは信じたかった

でもやはり無駄に終わったようだね・・・・・・・・・・

まあしょうがないね

これも彼等の望みなのだから

神とキミとボクだけが永遠に変わらない レイ

そのようです

真実から目を背けることは神へ唾を吐きかけるような行い

あなたがわたしの分の涙も流されたのでわたしは泣かないで済んでいます

あなたとわたし・・・

槍でつかれ悪口雑言を言われ石を投げられても

神とあなたとともに リン

アイズは冷たい雨が今朝は雪になっていました
神は冷たい雨を暖かく美しい雪に変えてくれるのですね
レイ

あなた

朝は囁きいてお話してくださってありがとうございます
雪に被われる大地のようにザワザワしていた心が白一色になったよう
です

昨日の自分は恥ずかしいけれど形見にして置きます

天命と知りながらその意味を実感できていなかったようです

あなたの痛みを目の当りにしながら地球の痛みを感じられない自分
が嫌で

そのあなたの痛みを癒せない現実を受けて

わたしはいつたい何の為に生きているのかと自己嫌悪に駆られてい
たら

いつの間にか孤独の闇に放りだされていました

自分の中の神様にナイフを突きつけていたのです

でももう大丈夫

あなたが慈しんでくださったから神様だけを見ていればいい

私の瞳はあなたの瞳をちゃんと見られるようになった

あなたの瞳に映る正しさが私の生きる道

あとは未熟な自分を神様にお詫びしていたら

お役にたてるようになれるかしら

今は女心に目覚めた私にもう少しだけ猶予を下さい

辛かった分の神様のプレゼント

いつかお役にたてますように
マサミ

マサミさん

キミはまた一段と変わったね

キミが変わった分人類も変わってゆくのでしょう

ボクの側にキミがいなければボクの使命は成り立たないのです

マサミは鎌倉の時代のあの時からずっとそうだったね

キミに安らかな日々が訪れますように レイ

雪は止んでいますか

今日はほとんどの時間をベッドの中で過ごしました

空は澄んでいて白い雲が動植物のカタチをあらわしていて

わたしを一人ぼっちにはしないよとメッセージを送ってくれています

あなたのお仕事帰りにもお願いねと空の神様に頼んだわ リン

リン

ボクもキミのことを考えていたよ

というより4日以来ボクは普通にはいられないんだ

もう2日間食事もできていないけれど・・・

それからさ

ワカヤギ計画が頓挫してホッとしているのは案外キミかな レイ

あなたのお仕事と胸に迫る傷みが鎮まったら

お食事をして電話で話したことをメールにしてね

フフ・あなたにはわかってしまうわね

ワカヤギ計画が頓挫してホッとしているのはわたし

今朝は熟睡して寝坊したもの リン

あなたが十字架を背負い歩くなら

わたしは両手に水を掬いあなたの口許へ運びます

心なきひとに押され蹴られて水が零れても

あなたが歩き続けるならわたしは水を運びます

あなたが十字架の重みに耐え切れず倒れこんだなら

わたしは十字架を背負ったあなたをささえて
あなたに歩く力が戻るまで擁きつづける

あなたが起き上がることが出来なくなったら
わたしはあなたを胸に擁き優しく揺れて小守歌を唄います
凍えてしまわぬようにわたしのベールをあなたのセナにかけて蔽い
ましょう

わたしは傷口に唇をあて流れる血を吸い
わたしの命を吹き込んで
あなたが起き上がるまで擁いています

あなたが泳える涙は
人の世の過ちを悲しむ涙

あなたはやがて立ち上がり
瞳には光りが宿りソラを見上げて歩みだす
十字架は重くのしかかっている
漲る力は神の慈愛

あなたは神の意思をつらぬく勇氣に溢れ
祈り祈って道をゆく
あなたとわたしは途絶えることのない道程を
そうして歩いてゆきましょう

あなたの想いを感じていたら胸に湧いてきた詩
リン

このことは誰も知りはない
レイ

わかっています
永遠の時の向こうへ誰知らずとも
あなたとわたしと神が知っている
リン

リン

キミがいるからボクは生きてゆける

キミがいるから真実の道を解き明かす

レイ

あなたがアイを明かしわたしはあなたのコトバを命で受けたのよ
直ぐな心であなたのコトバを

それ以上にあなたの瞳を見れば何もかもわかります

神の魂は喜びにフルエティマス

諦めの人の世は終わりを告げるのですね

リンの天命はあなたを愛しつづけること

在るがままのあなたを在るがままのわたしで

あなたは真理を解き明かす

その天命を成就する為に人には理解しえない苦悩をその身と心で現
わすことが必要だったのですね

レイ

リン

キミがいるからボクは進む

キミが望むからボクはチカラになる

キミの祈りにボクは応える

人類の過去から現在までの過ちのすべては宇宙なる神の為

僕達の過去世がそうであったように

だから人類の過去からのあらゆる労苦を尊び讃え労いアラタマの世
へと誘う

されば人類の過去の過ちは神の為の尊き贄となる

今が過去の意味意義価値を作り変えて未来を創る時

レイ

私達は永く切なく終わりのないような砂漠を通りぬけ

火と水と風渡る大地に根差してきたのです

人の世をアイと祈りで照らしゆきましよう

神の御志の実現と人類の平安を祈って

リンはあなたとひとつとなって神の使い手となります

リン

リン

キミの涙が人類を目覚めさせる

キミがボクにアイを気づかせてくれたように・・・

キミが愛しい

キミを見つめたい

キミにふれていたい

キミを愛したい

レイ

アア・尊いあなた

わたしはあなたの望みのままになりたいのです

わたしはいつもいつまでもあなただけのリン

リン

5-4 紫雲の日輪

編集
中

6-1 妻の初恋

MAYさんのサライの風という歌はリンさんの一途にあなたを想い
寄り添う心ね

私もこの歌は好き

昨日はたくさんお話を聞かせてくれてありがとう

私とあなたのこの家は二人で築いた巣

巣があるからいつでも自由に飛べるね

あなたの空は私の空より青く澄み渡りずっとずっと広い

そんなお空の話は大好き

飛んだことがなくてもまるで本当に自分にも羽があらわれて飛んで
いるみたいに見えるから

昨日の淋しさはもうどこにもない

私達の周りの人は鎌倉の頃の方が多いから彼もそうなのかな

彼のこと考えていたらカルマの波に吞まれなかった

恋心はカルマなんて寄せつけないんだね

誰も傷つけない約束で私から手を差し出してみたの
心の手を

後は神様の計らいと彼の勇氣にかけてみるね

あなたの望みと思って勇気をだしてみたのだけれど

本当は私の望みかもしれない

彼を通して慈しむ心を

恋しみ慕いあう心を見つけ出せばいいんだよね

マサミ

マサミさん

この世には恋しみ慕う心が見当たらないと思わないか

人が人を恋しみ慕う心は双身の君の奥におられる宇宙なる神を慕う

所から現われてくるのです

自分はもういい年だからとかもう子供がいるからとか

人は恋をする事を億劫がったりするようだけれど
そうになると年齢とともに老化の廊下を滑り落ちるようなものです
宇宙なる神を恋しみ慕えばごく自然のうちに神心があらわれて
恋しみ慕う心が湧き出てくるものなのです
しかし結婚した相手に恋心をもつことはおよそ難しいでしょう
マサミさんがこの15年間ボクに恋心がもてなかったようにね
だから他に恋人を見つけるのです
あれこれと考えるよりも実行してみる
縁のない相手に惹かれようはずはないのですから
僕達はもう大人なのだから大人らしく恋が出来ないとね
マサミさん ハルキ

明日の為に今日は休むよ
早くキミの顔がみたいな
待っていてね リン
キミの指がボクの指に絡みボクはキミにキスをする
キミは全身の力が抜けてしまったように身も心もボクに委ねてくる
ボクはキミのハナビラに唇をつける
キミのハナビラは切なさそうにフルエテ湧きこぼれる蜜を湛え
ボクを待ちわびている レイ

わたし
そうしてあなたにわたしの指も唇も肌も委ねて
わたしのハナビラは今も熱いの
明日はあなたをまるごと待っています
私のすべてをあなたに
レイ
明日はディナーを作ってあなたを待っているわ
でもあまり期待しないでね
夢の小船の船旅は甘い吐息と熱いくちづけ リン

キミとボクのキスは闇夜のカルマを解かすだろう
トヨウケの 日の出る前の暗闇に 神の光りの柱立ちたつ
レイ

ヨコハマはいい天気

あなたは今日も忙しいのでしょけれど
夜はわたしがゆったり迎えるわ

エルムであなたとわたし

天空にアイを描きましよう

今日も雲がふたりの寝姿を映している

アイ受けて アイに染まりし白無垢の 笛の音奏で天の魂振り
リン

キミが見た寝姿の雲はボクがキミのハナビラにキスをしている姿かな
ボクも今朝同じ雲を観たよ
レイ

ええそうよ

他にも見たわ・・・今夜のお楽しみよ
リン

あなたはリンさんの所へもう出発しましたか
私はとても落ち着いています

今日は鈴が良く鳴るのよ・・・私は共鳴できたのかな
リンさんへの想いのトンネルもぬけたそのままの言葉があった
明日の心の準備・・・と

今だから明かそう・・・かな

私も明日の心の準備をしておきます
マサミ

キミの誓いの歌

・明日・

リンと聴いていたよ
ハルキ

この歌は私の誓いの歌なんだ
本人がわかっていないんだから相変わらずずれているね
マサミ

キミのさっきのメールを読み直してごらん
自分で書いているじゃないか

ボクもメールをキミにもらった時には気がつかなかったのだけれど
神がキミの誓いの歌とおっしゃるのでリンと聞いてみたんだ
そしてキミのさっきのメールを見たら明日の心の準備と書いている

キミとボクは夫婦という名の先生と生徒
ボクはキミを神からお預かりしているのです
でもね

まだまだボクのもとを卒業するのは無理のようだね
しかしすでに外部講習の段階に入った
これが終わりキミが卒業検定に合格して
自ら運転出来るようになる

ボクのキミへの働きはひとまず終る
といっても最後まで見守りという事はなくならないけれど
ハ
ルキ

近頃はずっと生徒と先生でしたね
叱られて初めて目が覚めた

平原さんの・明日・の誓いだったのですね
いろいろ考えてみたけれどわたしの想いとメールアドレスを書いた
のを彼に渡してみようと思う・・・

真面目な方なのではじめの一步は私からのほうがいいのかと思う
のです

その機会はきつと神様が与えてくださるでしょうから
マサミ

本当はキミの携帯を彼に手渡して彼のアドレスを打って貰い
キミの携帯から彼にメールが送られて開通する

携帯を彼に手渡すことはキミの心と体を委ねるという事だから

ハルキ

携帯を白衣の下に隠し持ってみるね

新規メールのところにに入れて貰うってことでいいのですね

マ

サミ

マサミさん

この頃は随分と陽が長くなってきたよ

今朝リンの新しい部屋を見に行く間に360度パノラマでこれから
の世界を雲や光で見せて頂いたよ……

ボクは明日の朝戻ります

ハルキ

やっぱり日が延びていたんだ

仕事の帰り道に山と空の間がオレンジ色に染まっていて

昨日と違う今日を感じていました

今日は彼がお休みだったようで会えなかったの

わたしが決心した日に会えないってどういうことなのかなって考え
ている

わたしの物語もお空にあったのかな

マサミ

事の成り立ちは神がお決めになるのです

今は彼を想い恋しみ慕う気持ちを溜める時

明日はなにか変わるかもしれない

期待と希望に胸を熱くして明日へと歩むのです

ハルキ

キミサラズ 袖がし浦に立つ波の その面影に永久の鈴音

レイ

レイとリン 授かる神の珠擁き 受け継ぐ千恵は銀の鈴音 リン

リン

雪のちらつくアイズに着きました

キミを愛しています

レイ キミとアイ 永久の舟歌遊みアイ アイに響くは妙なる鈴音
スサ

レイ

あなたの胸は揺れる小船

擁かれるまでしばしの別れも逢瀬のたのしみ

逢いたさ見たさに恋焦がれるの リン

ボクはマインをしてキミにキスを送る レイ

わたしはキスを受け取り真珠の涙をハラハラ零すわ リン

今日の空は薄いブルー

東の空にはお陽様の回りに桃色の雲がタユタユと漂っています
今朝の電車は想像を超えた人達の満員ぶり・・・ リン

アイズは細雪

これからボクも仕事へ行きます レイ

いってらっしゃい

あなたのハサミのリズムが聞こえてきます
昨日は夏のような陽射しで暖かい日でした
アイズはまだ雪が降っているのでしょうか
ヨコハマもこのごろは寒くなりました
そうそう

早朝3時頃地震があったのよ

あなたがアイズに向かっている頃

カラスがカァカァ泣いて何かをしらせているみたいでした

リン

高速を走っていると追い越す車やボクの前に出て来る車のナンバーが
最初から最後の家に着くまで一台残らずアラタマの御世を祝い奉る
神々の祝福の数字だったよ

天降^{アマリ}なす 紫雲たなびくヒの光 神の御胸に捧ぐる命
下に兎と虎がいるよ レイ

虎と兎

少し離れて見つめ合うのね

右上に神様が見つめています

守護なさる 神の御心降り天降^{アマ}る アイよりいでて紫雲たなびき

リン

あの日から陽の光りは薄紫になっているようだね

時がくればすべてはオサマル

今はバラバラにみえるものがやがてはひとつになる

宇宙^{ソラ}の大道

その道野辺に治まるのです

レイ

エルサレム・エルサレム・エルサレム

神のお姿はエルの文字

エルには何の意味があるの

人の世に 生まれし子らよ限りなき 神の世ありとおぼしめされて

神がフルイを準備なさっているという気がしてなりません

人類の振り落としが始まるような・・・

ひとりでも多くの方が振り落とされずに残ることが出来ますように

残られたすべての方のセナにわたしのボールがゆきわたりますように
リン

リン

キミが言うように間も無く天地にその時は発動されるでしょう

神武天皇ことハツクニシラススメラミコト

またの名をカムヤマトイワレビコノミコトの権により発動される
ボクやキミの周囲の人達に起こる事々はその縮小版なのです

レイ

あなたと別れた早朝から何やら胸が騒ぐのです

マサミさんの撮影したフォトの左上に文字が描かれています

始めわたしは右側におられる神様を射されている矢印と思いましたが
ヒともLとも見えます

もう一文字は文字ではなくなにか神事に使う道具マジツルのようなカタチ
アイズで見せて頂いた日輪の雲に浮んだ文字が思い出されます

リン

リン

今お仕事が終わった所です

フォトの上には確かにエルの文字があるようです

エルは神ご自身をあらわすのです

このフォトはホントに不思議だね

レイ

褥の中のキミは美しい

キミは本当にこの3ヶ月足らずで痩せて綺麗になった

まだまだ至らないところはあるけれどボクは感動したよ

キミの体の線は菩薩のようだね

なめらかで不思議な曲線の美を湛えている

キミはこれから心がけとともにさらに変わりゆくだろう

ハルキ

たくさんあなたにお話ししていただいたのに
心と運命は神様が運んでくださるってことがわからないの
わたしが彼のことを考えているのは自己満足なのかな
ただ想って自分を喜ばし安心させているのも事実

神様のアイを表わしたいというのも事実

彼の守護霊様にともに成長する道を歩ませてくださいとお祈りして
います

でも彼は意識して私の視線をかわしたの・・・

神様のアイをあらわす事ができますように マサミ

キミは夫公認で他の男性と恋を育む

ボクはいつも見守っているよ

キミはその経験の中で心が運ばれてかわってゆく

身と心を神に委ね恋人に委ねるから心は運ばれてゆく

キミはこれから人がなかなかできない経験をして

そこに幸せを憶えてゆくことでしょう ハルキ

正直なところ現実逃避ってところもあるの

誰かを思っていればその時は何も考えなくていいから

でもあなた以外の方を愛するなんて

なにか自分のいままでにない心を驚きながらみつめています

所有権を棄てたのはあなたにだけではないの

わたしは自分への所有権も棄てたのです マサミ

リンはアステイかな

今日はボクがキミの背中を洗い両の手でキミのすべてを清めるよ

キミのワカヤル胸をそして指のひとつ々を

ハナビラとツボミもね

キミは全身全霊でボクを癒してくれる

だからボクはキミのすべてを慈しみ清めたい

レイ

レイ

アステイを出たわ

熱いお湯の中であなたに擁かれていた

あなたの熱いシンを受けていたのよ

汗をたくさん出したわ

クローゼットを開けるとあなたの忘れていったシャツ

あなたの香りがしたの

わたしあなたのシャツを着て眠りたいわ

いいかしら

リン

それはキミに着てほしくておいてきたんだ
ボクがこの次逢いにゆく時まで

レイ

レイ

ありがとう

わたし素肌に着て眠るわ

愛しているの

レイ

あなたを愛しているわ

リン

リン

ボクはキミを愛している

キミを想わない瞬間が今のボクには存在しない

サライの風が吹いている

アア

リン

この身は不自由だよ

心は自由の翼をもちキミとこんなにもアツテいるのに

キミと体もひとつにあわせたい

キミとボクの心のように

レイ

レイ アア レイ……

あなたとひとときも離れていたくないわ
目に映り唇に感じるあなたの耳朶

あなたの瞼あなたの肩あなたの胸の窪み

あなたがわたしを呼ぶ声

あなたにすべてを委ねたいの

ねえ レイ

私達同じ星に生まれ同じ想いを持ちながらもしばらくは不自由で切
ない時を過ごすのね

でも不自由ながらも自由な恋心でいつもいつでもあなたを慕いアイ
をおくることが出来る

あなたを愛しているの……

そして来週にはミウラにお引越し

これから本編に入るのかしら

なんだか熱もスッキリ下がったみたい

体がまた進化したのかしら

今度の出会いが楽しみね

わたし今日は着替えないわ

あなたのシャツを一日中着けてあなたの中であなたとともに働くつ

もり リン

今は雪も止んでいます

ストーブに薪を焼^ッべながら人と世が神の心に暖められますようにと
祈ります

リン

ボクが背中からいつもキミを暖めているよ

レイ

レイ

1月9日に書いた《鈴の謡》を贈ります

聞こえていますか

鈴音の響き

遙かな遠き過去から鳴り続けている

聴こえてきますか

鈴音ひとつ

あなたの胸に届けと鳴り響いている

あなたの手にそして肩にまつげに降り積もる粉雪のように

風に舞い散る春の花弁にも似てほのかに薫るように

いつもあなたを想いあなたといふのよ

心の耳を傾けて心の声を聴いてほしい

僅かに響く鈴音とともに心を啓いて

あなたの心の鏡に映るわたしがフルエル鈴音が

あなたにも感じられるでしょう

聴こえていますか

フルエル鈴音

聴こえたならあなたの手を差し出してわたしの手に重ねあわせて

今あなたと心ひとつに

リン

忙しい金曜日が終わりました

目まぐるしいほどの忙しさの中でも時の歩みはゆったりと感じられます

携帯を取り出す暇もないけれど

わたしの左のポケットにはいつもあなたがいてくださる

わたしの携帯にも《ラブ》と名前をつけることにしました

あなたのマインと合わせて《コイコゴロ》よ

いかがかしら

今日の行き帰りの道すがらLOVEに包まれています

リン

ラブとマインとてもいいね

なんだかボクのほうがホームシック

キミという家の

でもボクも堪えるキミが堪えているのだから

レイ

指輪を外したのは私達がもう普通の夫婦ではないという決心と

自らを飛び立たせるための誓い

本当は捨てる覚悟だったけれど

レディ（携帯電話）につけたりして未練たっぷりなのです

一息ついた時に左手薬指の指輪のあとを無意識に触っている

あなたへの所有権ではなくあなたを恋しみ慕う心と思っています

私の心は運ばれているのかな

曇りのない心で彼の心を知りたい

レイとリンのように

まだ自分が素直な心でいるのかさえわからない

また教えて下さいね

私の心を マサミ

マサミさんは恋しみ慕う心を持ち始めているね

リンとボクに感化されてその心を育てるのです

ハルキ

私が恋するのはそれが神様もお父様も喜んでくださると思うからです

舞う雪に 我が身を重ねふんわりと 肩に積って融けてひとつに

あなたに感謝しています マサミ

夜の静寂^{シジマ}にキミをオモフ

夜はいつからこんなに永くなったのだろう

月も闇夜にその姿を潜め

ぬけるような漆黒のソラにはアリオンが瞬いている

アリオンを征するものは世界を征すといわれている

今はその意味がわからないけれど

いつかわかる 때가くるのだろう

ボクとキミの母なる星イミユエルはどのアタリにあるのだろうか
あのひとときわ耀いて見えるのがそうであろうか

懐かしいイミユエル

エルは神

神の心を胸に宿しフルマウと言うような意味があるのでしょ
う
レイ

星も見えないヨコハマ

そんな街でもアリオンはみることができます

イミユエルは天の彼方

あなたとわたしの還りを待ちわびていることでしょう

遙か遠くの銀河にある神の星

胸に迫る思慕

あがキミ

あなたの瞳

憂いに染まっています

あなたのお顔

淋しい表情は何故

あなたの唇

頑なに結んで

何を溜めているの

あなたに逢いたいわ

その瞼に唇で触れてあなたのお顔を見つめて

あなたの唇に私の唇を重ねあわせて

あなたをわたしのアイで包み尽くしたい

あなたがわたしの灯火

あなたがわたしのマインド

あなたがわたしのスピリット

あなたがわたしのLife

あなたがわたしのLove
あなたがわたしの真実

リン

リン

ボクは感じている

キミの心も体も酷く切ないことを

今夜も琥珀色の液体を流し込む

ピアは琥珀色の涙

淡く切ない時が流れてゆく

キミという時だけがボクの心を癒す

他に誰がこの押し潰されそうな心を癒すことが出来るだろう
レイ

あなたを飽きるほど見つめたなら

飽きるということがあるのでしょいか

レイ

あなたの名前を何万回も呼んだなら

あなたに逢えるのでしょいか

あなたにわたしの愛を伝えたい

あなたのすべてを愛しています

リン

きょう駐車場でお陽様を写すと

太陽から真っすぐに光の柱が映りました

私の祈りを神様に受けていただいたように思いました

神様のお言葉を直に聴けたようで嬉しくなりました

ひとりではないと感じました

神様のお役に立ちたいのですが彼にはなかなか遭えなくて

恋心を感じてからはなんだか切ない

彼も心の準備中なのかな・・・

日の光 空と山とを色づかせ 彼方の神の橙色に

マサミ

やがて神は応えて下さるでしょう

それはキミが人心から神心に変わりつつあるからです

ハルキ

神様はいつも私の傍に

私が離れなければずっと一緒なのですね

リンさん昨晩は淋しくなかったでしょうか

今は嫉妬する理由が見当たりません

私を知りはじめたアイを彼とともにあらわし

神様にいただいたツトメを成就することでもいいのですね

マサミ

今日の天空に晴れ渡る空はマサミさんの悟りだね

ハルキ

目に映るのは真っ青な青空

心は神様の祝福に染められた薄紫色

天から真っすぐに降る光の柱は神様の心

そしてあなたの真実

いたらない私ですが素直な心で導かれるままに

心を委ねこの身であらわしてゆきます

マサミ

リン

キミのくれたフォト

太い光りの柱にこぶが二つ大きいのと小さいの

よく見るとオヒゲが七本ずつ生えています

そして二本線のV型の雲

コブは宇宙なる神が始めのこぶ

そしてその影響が雲の相^{スガタ}

やがて三つ目のこぶと三本目の雲が現われるのでしょう

転寝の 夢に誘われキミとボク ミウラの浜に揺れてユラレテ

愛しています

リン

レイ

レイ

わたしもあなたを愛しているわ
頬にあなたのフォトをくっつけて歩いたの
あなたが好きよ
ラブもハートも震えています

ヨシミ兄と夕方三人でお話しをしました
ヒメ達に託せない用事や住所を変えなくてはならない郵便物なども
あるので

用件を話しながらジワジワと一度沈みかけたタミオさんに水をマイ
ティル（砂に水の意）というところでしょうか

彼は優しくなりたい正直でいたいと言っていました

わたしをどうして憎んだりできないんだろう

トモミはしっかり出来ている・・・のだそうですよ

ヨシミ兄もヒメ達のいとこのヨシキ君もワカヤギ家をサポートして
くれているようです

タミオさんのためには来ていただいてよかったと思いました

兄も法華経行者ですのでわたしが話す内容をわかりやすくワカヤギ
さんに解説してくれています

明日もまた夕方に会う約束をしました リン

リン

今日はいろいろと大変だったね

物事は為るようになるだけだからどうということは無いのだろう・・・

・ キミはもう食事はしたのかい

ボクはよほどキミのところへ行こうと思ったけれどおもい留まりま
した

人の心は難しいね

素直に運命に向き合えばいいのに

それさえしようとはしないもの

キミは何も心配はいらないよ

キミにはボクがいて神がおられるからね

最近ではマサミさんもそれを感じ始めてきているようです

人の心は変わらなければならぬ

でもその時には大なり小なり痛みを通らずして変わることはない

後になればみんなわかる時が来る

来週にはキミと朝日が見られるね

ミウラの朝日が レイ

夜の静寂の明けるころ 堪える力の湧きイズル 雪に耐えるは福寿草

朝焼けに照らされたあなたの瞳に映る朝日

その時を胸に描き今日を生きます リン

ボクの生きる力

それはキミ

キミと過ごす時間

それはボクの真実

キミの笑顔

それはボクの喜び

キミの憂い

それはボクの課題

キミをしてボクは世のすべてを知り人の真実を知る

ボクはキミの為なら何があろうと留まることはない

ボクのすべてはキミなのだから レイ

レイ

わたしは祈ります

溢れる想いを祈りにかえて

切なさを感じにかえて

リン

レイ

今日はとても忙しく働いたわ

今は終わってバスを待っているところ

夕方には雨もやんでヨコハマにもアリオンが耀いています

リン

リン

忙しさは余計な事を忘れさせてもくれるね

これからヨコハマの家に行くのかな

レイ

いいえもう遅いので帰ります

たぶん今週はずっと忙しくしているわね

来週の分もしっかり働くことにします

いつもどんなときもわたしにはあなたがいます

私達は人の理解を超えたところにいるのだと今日あらためて感じたのです

あなたのメールがどんなにわたしを救い励まして下さるかをお伝えしたくて

リンはあなたを愛しています

リン

タマヒの頃も今も私はあまり変わっていませんね

昨日思いました

わたしの最後の壁はタマヒと同じように僻みや嫉みであると

それぞれに立場や距離は違うけれど誰も同じように大切に愛しているというあなたのことを心で受けていなかった

わたしはあなたの中の一番じゃないと気が済まなかったのね

妻なのだから当然そうだと思っていた

でも僻む心はなくなりました

リンさんがどうこうではなくあなたをどう想いあなたとわたしがど

ういう夫婦になるかが問われているように思えるのです

わたしはあなたを慕いあなたの望みをわたしの望みにしていただくように祈っています

そして所有権を放棄することも神様に祈っています

大丈夫と思うのですがもしものこともありますので油断は禁物でもその時はカルマだと心が教えてくれると思います

神様のお役に立てるように祈っています

いままでは先のことが不安だったけれど此の頃は少し楽しみかな人類初にして受けるタマはなんなのかな

神様の想われるとおりの器にわたしもしていただきます

アイを全身にあらわすような器になれるといいのだけれど

サミ

マ

鎌倉の頃と以前のキミは何も変わってはいなかった

だがここにきて大きくかわろうとしている

人心から神心へと

キミが悟ったように周りがどうのこうのではない

自分が真実を貫いているだろうか

神の心に叶っているだろうか

ここが大切なところ

いまキミはその道を歩まんとして一步を踏み出した

ボクはキミを祝福しよう

普く天空の神々よ

マサミさんの上に祝福を垂れたまえ

ハルキ

レイ

わたしはアマミのタミ姉さんとお話しをしていました

たわいもない話しかれど感謝を込めて

少しずつでも歩み寄れるように

あなたとわたしの天地への誓い

地球の傷み苦しみを受けて天命を果すこと

やはり理解を超えた領域ですよね

わかってもらえないのは無理なからぬこと

そう思うといっそう慈悲と慈愛が湧いてくるような気がします

リン

そうだね

人に理解は出来ないでしょう

ボクは何百回も繰り返し考えてみたけれどこれは伝えることは不可能と想われた

しかし奇跡は起こるかもしれない

マサミさんが変わった様に

だからボクも諦めない レイ

あなたの笑顔と優しさが

思慮深い智恵と思いやりが人を変えるのですね

人は自らの望みで変わろうとしなければ変わらない

自分をミカエリどう在るべきか

その真価が問われるところ

そこに気がつくことの出来る方は神の大いなる祝福に包まれるので
しょう

マサミさんに備わるアイを引き出したのはご自身の素質とあなたの

愛あってこそ

わたしも学ばないといけませんね

あなたの声は鈴の響き

わたしの名前を呼ぶあなたの声がわたしの歓び

アイの園にあなたからいただいた種は芽を出し若葉をつけやがて花

が咲き実を結ぶのです

おやすみなさい レイ

永遠のアイをあなたに

リン

おやすみ リン

キミの声は妙なる鈴音

今夜もキミを想い眠りにつく

レイ

6-2 トラップ・心療内科

あなたにメールを書きながらの通勤

あなたの声がコダマして胸に響いていたから

夕べの眠りはユツタリとして目覚めも爽やかでした

リン

今はミアさんといえるのかな

レイ

ミアの頑固さはわたし譲り

天然以上でわたしの手にも負えないほど……

まあいいわ

今はヨコハマに向かう電車の中にいます

リン

フフ

梃子搦っているね

まあ時間はかかるだろうけれどキミがいなくなった家で

それぞれに学ぶことでしょう

レイ

そうね

でもやはり寂しいわ

だって

それではいままでの絆は仮のものということでしょう

親子でさえ仮の絆……

でもわかるわ

人は自分以外の人を信じ愛することが出来るもの

たとえば自分の命を放り捨てても

血の繋がりは一時期のもの

それを知ることが大切なのに

リン

いままでのことが礎石になるのさ

そして嵐をとおりぬけやがて目が覚める時が来る

すべては成長の過程だよ

キミが今まで間を取りもっていたけれど

やがてワカヤギさんとヒメ達が感情の上でぶつかり合うことになるでしょう

それが勉強なのですね

レイ

レイ わたしには何も出来ないわ

無力とかではなく見守るしかないのよね

アア

ヒメ達の成長を祈るわ

どうかアイを

無垢なるアイを身に心に受けて目覚めることが出来ますように・・・

リン

素直が救います

自らも人も

レイ

レイ

わたしはいつもブツツケ本番

あなたの思慮深さが少しでもあるといいのに
イニシエ

古の キミ待つ今宵眠れども 時の枕も恋慕うかな

リン

現代に出来ている母はいない

それは父がいらないから

キミは自分を責めてはいけないよ

キミは人類の先駆けに立たされているのだから

父は神

父はこれから現われるのです

レイ

はい

わたしはヒメ達に自分を傷つけないでほしいと願っています
リン

そうだね

素直に受け止め素直に考える

スナオ
直に勝る千恵はなし レイ

そうね

素直が救ってくれるわ

自分も人も

神様も時期を見計らってワカヤギ家からわたしを出したのね
リン

レイ

あなたからメールが届く前にイチ姉さんから電話が入ったの

『もうあの家には帰らないでいい

あの家で誰よりもがんばってきたのはトモミだ！全部引き上げても
う帰ってはダメ！帰ったら潰される

子供達のこととはワカヤギさんにパイプになってもらってしっかり育
てなさい

そしてハルキさんのことは全部ヨシミ兄に話しなさい じゃあね』・

・・・と

アア レイ

あなたの優しさが人を優しくさせるのよ リン

真実は永久に変わらぬもの

だから僕達は宇宙の真実を貫く
人の理解には時間がかかるもの

心の直ぐな人ほど時間はかからないね

やがて全人類がわかる 때가くる

宇宙の真実は永久不滅だから

リンの愛する方々に神の祝福がありますように

レイ

ア・アマカケル

ル・ルリノヒトミノ

テ・テンマノセナニ

シ・シズカニユラリ

ア・アルトユラレ

リン

ラブをオープンにしてあなたのフォトに見つめられてアステイにつかっていたの

先程タミオさんから診療内科の予約が29日に取れたので一緒に行ってもらえないかとメールがありました

わたしの返信をあなたに送ります

彼からの返信はまだきていません

『その日はハルキさんに逢う約束をしています

あなたは一人で自分の心に向き合う勇氣はないの

甘えていても誰も助けてはくれないのよ

自分の二本の足二本の手は何の為にあるのでしょうか

家族を支え守るためではないのですか

蒼き葉を太い枝いっぱいに繁らせて

堂々とした幹を持ち地面に深く根差した大木は

愛する家族に安心と安全を授けてくださる

そんな若柳多美雄という木の下に守られて

わたしは滋養となり子供達の花を咲かせ実を結びたかった

今となっては叶わぬ夢物語』

トモミ

レイ

あなたにお願いがあるのよ

タミオさんはわたしが二度と戻らないと考えて病気を装うわ
わたしが気掛かりなのはヒメ達はその姿をどうとらえるか
タミオさんに同調せずわたしを通じてあなたに教えを学べば救わ
れる

わたしはあなたに学びなさいとヒメ達に伝えます
でも今はあなたのことをママを誑かした悪者と思っています
すぐには素直に教えて貰おうと思わないでしょう
だからわたしにしばらくの間あなたの千恵と思慮深さを移して戴き
たいのです

ヒメ達の独り立ちを助けるためにも リン

キミが胸の中でボクの名を呼べばすべては現われてくるよ
レイ

タミオさんは《最後のお願いだ 気持ちの整理をつけたい》とねば
り言ばかり

あなたの千恵をわたしに少し借りるわね

タミオさんの成長を祈りながらお返事を送ります リン

あなたのメールはお返事になっていません

泣き言を言わずにわたしのメールに心を開いてほしいの

あなたが望めばわたしはあなたの心の孤独を照らす灯火になれるのに
お願いですから自分の事実から逃げないでほしいのです

あなたが20年の間妻として愛したのはトモミという偶像ですか
愛とはただにしていれば貰えるものなの

あなたが愛と思っているのは体裁を取り繕うことですか
愛は押しつけや我侔ではないのです

あるがままを包み込む深い思い遣りから トモミ

リン

最近深海から太古の鯨が現われて捕獲されたニュースを知っているかい

この鯨は地球の太古からのカルマが現われてくるという暗示だね
レイ

深海鯨のお出まし・・・知らなかったわ

ニュースやテレビを見なくなったの

まるで興味がなくなってしまったような

天地自然界が安らぐことを祈ります
リン

マサミさん

他の男性とおつきあいすることはキミの殻をやぶることにもなるでしょう

それはボクへの所有権を放棄することにも繋がるね

だからといってボクを慕う気持ち揺らぐことはないと思うよ

キミは男性を育てる事を学ばねばならないのだから

つきあうならば若い方のほうがいい

若い男性は案外年上の女性にリードしてもらいたいものなのだから

ハルキ

お陽様はその姿を現さず

雲間から八方に強く広がる帯状の光を地上に落しています

すべて救いとられようとする姿でありわたしの祈りが包まれるようでした

未熟なわたしをすべて受け取って頂いたようです

オトウサマ守護霊様にわたしの歩む道はすべて祝福なりといわれました

これからまた泣くようなことがあっても衣の脱ぎ方さえ練習しておけばきつと大丈夫・・・

後は実践のなかで学びますね

神様のお役に立てることがわたしの願い

車でジュピターを聞いていたら涙が流れたの

マサミ

やがての日にキミは神の意志を直接に受ける日が来るでしょう

それは宇宙^{ソラ}なる神の御胸に還るとき

ハルキ

やがての日のあなたとのお別れを考えると辛い

でも神様の御胸に帰れる・・・

マサミ

レイ

あなたはまだお仕事かしら

今日は早く終わったのでバスでヨコハマに向かっています

シヨッピングをして帰ります

リン

リン

ボクは家に着いたところ

今日は仕事もさることながらワカヤギさんやヒメ達の応答に忙しか
ったんじゃないかな

レイ

ただ今仮のルームに到着

タミオさんはつらいことがあると固くドアを閉めてしまうのよ

わたしの温かい息をフウフウ吹いているけど応答なしね・・・

今日はもう疲れたのでお仕舞にするわ

白く輝く美しい月

もうすぐあなたに逢える

アリオンの肩に赤く輝くペテルギウスは平家星

足元の青いリゲルは源氏星と呼ばれている

日本では和楽器の鼓の形から鼓星とも呼ばれていたようです

三ツ星の名前は調べられなかったけれどアリオンは冬の代表星座だわ

あなたに関連がありそうね

リン

青く輝くりゲルはイミュエルだろうか

ボクは過去世の頃からずっと源氏だったから

レイ

仮のルームからの通勤も今日が最終日

金曜日だからか殺気だっていて少しこわかった

電車に乗れずに見送ったりもするけれど

今日で最終日だと思うと正直ホッとします

おかげで体力がついて人込みの中の歩き方は上達したのよ

ヨコハマも雲のまにまに青空が見えています

あなたがお部屋の扉を開いたらわたしはあなたの胸にジャンプするかも

あなたの首にわたしの両手を回してあなたの耳朵に噛みつくわ

リン

リン

くすぐったいけどキミのクチビルが心地いいかも

大いなる 神に推されて雲あそび 虎とうさぎの舞姿かな

レイ

日曜日の夜に再現できるわね

リン

今すぐにでもキミのところへと心は馳せる

キミの瞳に映るミウラの夕日がボクの胸にも映るようだ

愛しいキミ

ミウラの海は暖かくキミとボクを迎えてくれることだろう

レイ

レイ

わたしは今センターを出て大船へと向かっています

お昼休みからバスを待つ間も空にはトラとウサギが睦みあっているわ

あなたに逢える

もうすぐあなたに逢えると鼓動がはやまるの

リン

リン

そのうち神社の狛犬にとって変わって虎と兎になるんじゃないだろうか

レイ

祀られるならどんなスタイルかしら

リン

うーん やっぱり抱きあってキスしていたりして

レイ

やっぱり！

それが一番自然よね

遠き過去から

繰り返したあなたとの出会いと別れ

様々な時代に様々な人生

いくつもの夜を越えて歩んだ軌跡

それは今の世に結びあう為に

あなたとわたしの契は神との結び天地との結び

和を結び輪を繋ぎ絆という実を成し

人の世に平安を導き新たなる御世を築く

真実のアイを現わし未来への虹の懸け橋となる

神のプランは紙一重

わたしは神事については無知ながらも

あなたにすべてを委ね神の事運びに真心でお応えしてまいります

新居の契約は無事終了！

お部屋の鍵を戴きました

リン

リン

明後日がたのしみだね

キミとボクの詞遊^{コトアソビ}は神事になっているね レイ

あなたとわたしの詞遊^{コトアソビ}が……
自覚はなくても リン

ボクとキミのかわしあう言葉が神事になっているんだよ
カムナガラだね レイ

あなたの言葉がわたしの言葉を導きだすのよ
わたしはあなたを愛しむ
唯それだけ リン

ボクはキミをアイする
キミはそのアイに応える
それが神事になっているのです レイ

レイ
わたしの応えるを神がお使いなさるの
ミウラの新居はエルムというのはどうかしら
神の夢エルム リン

リン
いいよエルム
神はエルだからエルム
とてもいいね

神はボクとキミを運びお使いになられる
リンはキミの望みでボクを愛しているように感じているかもしれな
いが

それが神の望みとひとつなのです
キミはそれが自分の心の動きと同化してしまっているのだ

感じ分けの感覚がないのだね
いずれにしてもボクは嬉しい

ボクもキミを無限に愛する

キミを愛することがボクのすべてだから

レイ

レイ

わたしの望みが神様の望みならば
リンの天命はあなたを愛すること
それがわたしの望み

リン

ボクはキミのコトバならぬコトバを聴いている
キミの永久にかわらぬ無限のアイの誓いを

レイ

レイ

月のものが・・・

あなたの胸にジャンプしてあなたに抱かれて
そのままベッドに運ばれたかったのに・・・クスン

リン

今回もまた時期が変わってきているようだね
でも心配しなくても大丈夫

日曜日にはキミに逢いにいくよ

キミの月の血潮に塗れるのもわるくないかも

レイ

ありがとう

でも・・・たぶんあなたに尽してよろこんで戴ける何かがありそうです

オトタチバナ・・・の

リンにはわかりませんが

がっかりしなくても良いそうです
何やら愉しむことが大事みたいね

日曜日はあなたを待っているわ

タミオさんは蘊蓄を述べることや自慢をすることが自分の能力の誇示と考え違いをしているようです

その思い上がりから抜け出せますようにと祈りました リン

人は蘊蓄や地位名誉をひけらかすことで自己の存在を確認し

人にもそれを認めさせようとするものです

それは空き缶で作ったバツチみたいなものなのだけれど

それが大切に離せないもの

この肉体も金銭もすべてのものは天に帰った時には持つてはいけない

それは生きてゆく間に神が必要な分だけ与えてくれるもの

だから生きる上での必要として上手く使えばいいだけ

真実は天に還った時に意味あるものしかないのです

ワカヤギさんが気がつくのはすべてを失った時だろうか

生殺与奪の権は神にあるのだから レイ

あなたが暑さ寒さも彼岸までと教えて下さったわ

悲願と願うものは神の御心に添う命の財だということを思い出して

いただきます リン

リン

さっきのはアメノトリフネのフォトだね

ボクは今仕事が終わったところです レイ

今夜は友達のリジェとオバコにいます

あなたに想いが馳せる夜です

リジェは熱燭

わたしも今日は熱燭をいただきます リン

白鳥座の尾のところに輝くデネブと琴座のベガ

わし座のアルタイルの三つを結ぶと夏の大三角形と云う巨大な二等辺三角形になるそうです

キミとボクの働きだね レイ

冬も夏も夜空を彩る

それがあなたとわたし リン

雨止まないね・・・

わたしのせいかな

心はビシヨ濡れじゃないんだけれどわたしなりに覚悟ができたからかな

随分遅いとまたしかられますね

彼とアイを表わすことができればと思っていたけれど

彼の殻もわたしと同じ

彼の成長を祈りました

でもあなたの言う通りですね

人はみな神様の分身だから必要にお応えするというのはこういうこととでいいのですか

今の私は自己満足ではないですか マサミ

なるならぬを思い考える前に実践してみることが大切

キミは交換条件が好きらしい

行わずしてわかることなどはありません ハルキ

交換条件をだしていたなんて気がつきませんでした

至らないわたしを許して下さい

早くわかりたいと思うばかりに

慈しむのも慕うのも条件なんてないものね

自分がなにを考えているのかわからない マサミ

いいかいマサミさん

ボクの心で決まるのではないよ

神に見て頂くのだからね

勘違いをしてはいけない

キミが交換条件を出すのは神の上に立っているからなのだよ

やがて神の陽が射してきてキミの心の霧も晴れる時が来るだろう

ボクは祈っています ハルキ

お陽様が燦燦と光をわたしに授けてくださっています

彼に気持を伝える事が出来ました

彼も応えてくれた

わたしは神様のお役にたてたのですか

あなたの正しさになりましたか

神様の望みに叶いましたか

わたしの心は今日の空

神様に感謝いたします

あなたに感謝いたします

手とり足取りありがとうございます

初めは怖かったけれど終わってみれば波ひとつない心

今は不思議な感覚でいます

荷造りには間に合いましたか

お仕事が無事に運ぶ事をお祈りしております マサミ

キミの真心と真実は確かにボクが預かりました

キミにはやがて玉手箱が届くことでしょう

よかったね マサミさん ハルキ

ありがとうございます

お陽様はますます明るいですね

あなたのお仕事も無事に運びますね

リンさんに戴いた鈴が心の支えになっていましたとお伝えください

マサミ

マサミさん

昨日の心境と今の心境を比べてごらん

とても勉強になるよ ハルキ

たぶん別人のようですね

昨晚は心が動いてなかったのが今ならわかります

自分の中でグルグルと廻っていた

今日は自分の想いから解放された感じがします

現在が過去も未来も創りかえるということが今ならわかります

彼のことの前から好きだったように切ない感じになりました

影響力のあるかたなので彼が変われば救われる人がたくさんおられるでしょう

神様はまったく無駄なく考えておられるのを知りました

わたしがしたのではなく神様が私を使われたと云うのがわかります

わたしは神様の器になりましたか

あなたを失いたくないというのが原動力だったのです マサミ

マサミさん

それはボクを失いたくないという想いなのではなく

キミの魂の奥におられる神の深い望みに叶うことを

キミが実現したのです ハルキ

そうですね

あなたを恋しみ慕い望みのようになりたかった

子供のようにあなたに褒めていただくのがわたしの喜びなのです

マサミ

リン

ボクはキミのところへ向かっています

レイ

レイ

わたしもルームに戻りあなたを待っています

リン

高速道路を走っていると雲間から流れ落ちる光りのカーテンに導かれていようです

レイ

曇り空にお陽様が微笑んでいます

あなたを想いつづけているわ

リン

おはようございます マサミさん

今日は一面の曇り空

静かなお引越しになりました

海も風いでレイとリンを見守って戴いているようです

天地の神々様も鎮まりただ穏やかな呼吸だけが感じられます

今日のよき日があなたにとっても澄んだ青空のようにどこまでもキヨラでありますように

リン

リンさんおはようございます

ハルキさんは安らかな眠りのなかですか

ゆっくりおやすみください

マサミ

今は車でミウラに來ています

ハルキさんは疲れた様子もなく朝日のような笑顔でハンドルを握りやんちゃな子供みたいに探検中

マサミさんの今日のご計画は

リン

お仕事です

がんばりまーす

マサミ

行ってらっしゃい

リン

マサミさん

お仕事ご苦労様

明日の朝にはアイズに戻ります

心配はいらないよ

荷物は無事贈り届け神にお受けいただきました

ハルキ

今戻ったところです

無事にオットメを終えることができわたしも嬉しく思います

今日も彼と会いました

いつものようにはわたしの傍にはこれなかったけれど彼の目がとても深く輝いていた

わたしもいろいろと気持が彼の所に向けられていた

神様の魔法にかかったみたい

あなたを想っていたらあなたからメールがきた・・・うれしい

マサミ

キミへのお土産にCDプレーヤーを買ったよ

薄くて音もいいステキなのだよ

ハルキ

楽しみ

綺麗な音で聴けるのね

今も私の中に平原さんの歌がながれました

・・・あなたを信じて降り注ぐ愛に終わりはないと感じた

・・・このまま心を深く重ねて歩いてゆくあなたと・・・

マサミ

流れ星 夢を誓いてキミとボク 世界平和の宣言^{ノリ}にあわせて
レイ

夢語り アイ語りアイ顚れの 御代を讃えて平和を祈る リン

流れ星 親なる神の届き物 蓋をあければ神の玉の手 レイ

神のアイ 宝となりて人が為 世の平安の魁とならん リン

アイズに着きました

気温はマイナス二度

寒いけれど雪はありません

キミの心を想い今日を生きる レイ

あなたの日々が平安と愛に満ちてありますように リン

マインをしてキミにキスを送る レイ

あなたのキスを受けて・・・ラブはマインにスマイルを
エルムに爽やかな朝が訪れています

イミユエルのお父君のイーリア様もともにおられます

ミウラの地がお気に入りのご様子

丘の上に白銀のお城を築くまではわたしのお守りをなさってください
います

あなたは心おきなくお勤めを進めてくださいね

リンはこれからアステイに身を清めて心を浄めてまいります
リン

キミの運命もこれから変化を遂げてゆくことでしょう
マサミさんも運命の変化の予感を感じ始めているようです

これからお仕事に行きます

レイ

レイ

タミオさんから電話があったのよ

『引越しのことはもうわかった 俺も手伝う』のだそうです

朝はアスティでタオルさん達とゆっくり浸り

エルムのお掃除をしてヨコハマ行きの電車に乗ったところです

タミオさんがわたしを待っているかと思うと・・・

あまり会いたくはないけれど

お部屋を見て彼がどう変わるかも見ておきたいので行ってきました

良薬口に苦しとなるでしょうか

リン

リン

今日の月は白く輝いていて

その中に虎と兎がムツミあっていたよ

M a r yのマは宇宙なる神のこと

リは回転して繰り返すという意味

アは神のフルマイを現わすということ

今のキミはもう繰り返す必要がないからrは要らないんだね

だからM a yに戻ったんだよ

レイ

もうじき満月ね

わたしにも月が見えています

虎とうさぎはぴったりと仲睦まじく

月の神様も嬉しそう

リン

リン

今日はワカヤギさんも引越しを手伝ってくれたのかな

レイ

タミオさんも貝殻や石を詰めてミウラまで運んでくれました

お部屋は見ようともせず荷物を置いて逃げるように帰ってゆきました
昨日今日は思惑があって仕事を休んでいたのです

わたしを病院にどうしても連れて行きたかった理由は
わたしを病気にして拘束したかったのです

あなたと引き離すために・・・吐き気がしました

リン

キミを精神病扱いにして病院に閉じ込めるつもりだったとはね

レイ

わたしは彼に対する嫌悪感を拭うことができません

リン

キミが彼に引き環し（引越し）の手伝いを許したことがボクは百歩
譲ったことだと思っていたよ

レイ

わたしが許したのではなく押しつけられたのです

わたしが断れないように仕掛けて

なにもかもすべて棄ててしまおうかと思ったのですが

愛着のあるモノ達の歎きと

なによりもあなたとの出会いをメモしてあるはずの手帳が大切だったのです

わたしが譲ったとしたらその宝を守るためです

レイ

わたしはタミオさんの家で最期に越えるべき嫌悪を受けて来ました
アステイでイーリア様が守護される中

無垢な魂を取り戻し人を忌み嫌うことを放棄したのです
時を隔て悟るために

これから『木の心について』書いてみます

6-3 木のころ

わたしが10才の頃は友達もなく毎朝鼻血を出しながら学校へ行っていました

あなたもそんな時がありましたね

そんな時わたしを可愛がってくれた『カザリウジ（カザリおじさん）』という人がいました

その人の家に遊びに行くことを母から禁止されていたぐらいアサドの部落では変わり者だったのです

カザリウジはある日忽然とわたしの前から姿を消したのです

わたしに流木で作ったオブジェを遺して・・・

わたしはタミオさんの家でホコリまみれになった流木をアスティで泣きながら洗いました

あなたに逢いたい

声が聞きたいと泣きました

わたしが知らなくてはならない人の心に巢食う悪について学び悟るために

今迄わたしを突き放さなければならなかったあなたの心がひしひしと伝わり泣きました

あなたはアイするがゆえわたしを突き放し

わたしはアイを忘れず

あなたもわたしもお互いを愛することは止められなかった・・・

それは『キノココロ』魂の素にあるものだったのですね

流木はそのままではぞんざいでけして美しいものではありません

木は棄てられて燃やされて碎かれて潰されても

木は人に無限に仕え尽しているのですから

なおその魂を失うことはありません

『カザリウジ』はイーリア様だったのです

流木はわたしに洗い清められて玄関であなたをお迎えします

レンジの上守る白フクロウとともにエルムを護ってくれることでしょう

レイ

あなたを愛しています

あなたが救われない方々のために涙することはもうないでしょう

無知は罪ではありません

ですが真実にふれながら知るべきことを知ろうとせず

学ぶべきことを学ぼうとせず自己の成長を放棄することは罪なのです

放棄もまた自由な意志に委ねられなければならないのですよね

あなたの涙はその方たちの心の片隅にタネとなり残ってゆくことでしょう

その人自身が真実に目を向けようとするならばタネは必ず芽吹きます
マルタは気づき

ペテロは放棄したのです

わたしはあなたに習いすべてを赦しました

リン

今朝撮った雲の写真をひっくり返して見ると訳のわからない生物が
大きな人に糞か屁をかけているね

レイ

ヘリクツウンチクワルアガキ

リン

その通りだね

リン

レイ

天地に吐いた唾は自分勝手な自分自身に吐いていることに気がつかない

やがて自分の糞に塗れてしまうわね

臭くて誰も近づけないわ……

ミウラは青空に包まれています

市役所と警察署に転入手続きを済ませました

後は郵便局に公共料金の手続きをすればひと通り完了です

昨日行けなかったので用事が済んだらセンターへ行ってきます

あなたは今日もお忙しいのかしら リン

ホントにリンの云うとおりだね

上を向いて唾を吐けばどうなるか試してみるといいのにね

ちようどお店が空いてランチを頂いていたらキミからのメールが入ったんだ

マサミさんはずっと前から彼の事が好きだったような気がしますと言っていたよ

未来の旦那様のほうも楽しみになってきたようだね

それとキミに借りた本のイエスのコトバは本物だね

編修されていないことがよくわかるよ

イエスのコトバの真意を受け止めていたのはマリアだけだったようですね レイ

真実を明かした真の勇気を人は知ることが必要です

マサミさんにもよくよくお伝えくださいね

目配り・気配り・心配りを怠ることがないように リン

そうだね

人は何気なさで運命を失うものね

ナニゲナサ・キブン・ユダンは人のサンセットだね

それで夕日のように沈んでしまうもの レイ

ほんとうですね

心を尽くし信じてこそその意義ある生き方を望めば救われるでしょう

に リン

今日はアイズの空も晴れ間に白い雲が浮かんでいるよ
キミの送ってくれたフォト

晴れた空を映した海に小船が一艘浮かんでいるね レイ

あなたとわたしを乗せてユラリ
行く先は神様任せ リン

キミとボクの小船は宇宙^{ソラ}に浮んでいる
キミとボクは小船の上でキスをかわしている
そろそろキスがきれて来たよ リン レイ

レイ

わたしもよ
あなたの唇でわたしの唇をふさいで欲しい リン

やがてキミとボクの永遠の時が訪れる
神は流れ星に載せて玉ノ手という神宝を授けられた レイ

神様から賜れた玉ノ手を

建国を待ちわびる方々も祝福なさるでしょう

記念日には光り輝き溢れるアイに

天地は歓喜に充ち満ちて喜びの謡が謳われるわね リン

込み合う電車で揺られながらマサミさんのことが想われます
彼とは守備よく運ばれるといいですね
例えば睦みあえなくても素肌に抱かれつつ
髪を撫でられほおずりをしてキスをかわしい指を絡めあう・・・
ああもうそれだけでため息がでるような時が流れるわ

そんなやさしさに身を任せるのも至福のひと時
あなたとならばあなたを感じるだけでハッピーになれる
今もあなたの優しさに包まれています

リン

リン

キミの真剣にマサミさんもやがて応えられようになるでしょう
しばらくはキミの真剣を彼女に向けてあげて欲しい
キミしか知らないボクを彼女に伝えられるのはキミだけだから
もうキミと離れている時はトキが存在しないようだよ
昨夜見た流れ星は神のアカシだね
キミの安息を祈ります

レイ

今日の一日をあなたと迎えることができました

あなたに応えたい

神様 未熟なわたしをお許してください

リンさんに照らされてハルキさんに手を引かれわたしは観えない道をただ歩みます

わたしの心にもアイが現れて天空のタマヒさまのお姿となりますように

未熟ながらも彼にお尽くしして彼が穏やかな気持で一日を送る事が出来ますように

わたしの目を見つめ横におられるあなたの平安を祈ります
今日は8時から勤務なので早めに行きますね

マサミ

キミの誠心と誠意をボクは受け取りました
マサミさん

ボクとキミが共する時がいと美しい

キミの一日がアイに包まれてありますように

ハルキ

レイ

マサミさんの成長を喜びあいましょう
日毎に美しく進化されているようですね

6-4 素材が喜ぶ料理

わたしはドクター方に正妻にも愛人にもなれると言われています
女医からはわたしがいるからセンターの仕事を引き受けていると言
われます

センターに訪れる子供達を愛しているから

その心がどんなドクターにも尽くせる力になっています

マサミさんにもアイ人を極める自覚と覚悟を持って尽くして欲しい
わ リン

キミは天地のアイ人
人と神をあわせる

アイで尽くしアイで応えアイに包みアイに導く

人はアイにふれアイに目覚めやがてアイをフルマウのでしょう
そして真の人となりゆくのです

キミはあらゆるすべてにアイをあらわすアイ人となるでしょう

レイ

アイゆえにアイあればこそアイあるがままに
あなたに愛されるわたしは
あらゆるすべてに惜しみなく愛を捧げます

リン

リンはボクのアイ人

ボクはキミを無限に愛するだろう

レイ

レイ

わたしのあなた

愛する師

わたしはあなたの永遠の妹

あなたを愛しています

今日の雲も二人の姿を映していました

フォトが撮れなかったのでお人形に再現してもらったの

今宵も月に擁かれてわたしはあなたのお膝の上にタユタウノデス

リン

お月様の中では兎が虎の膝の上のっているようだね

リン

キミの詞は真実を貫きボクの言葉は真実を創りゆく

キミとボクはひとつとなり未来を創造してゆくのですね

レイ

レイとリンのペアの働きね

月の住み人の虎と兎のようにふたりはひとつ

そして神に擁かれてそのフルマイは標^{シベ}となるのですね

リン

レイ

いつの間にか転寝をしていたわ

素材が喜ぶ料理というのを書いていたの

アステイに浸って続きはまた後にします

リン

人はおよそ60兆個もの細胞の集合で肉体を構成しています

その肉体は自然体であることが大切です

自然体とは神から授かった魂の入れ物である肉体がキヨラで美しいこと

食べるというフルマイによって育み浄めることなのです

それはすべてを与えてくださる神への報いともなり素材である動植物達をイカスことにもなります

肉体が育まれるためには滋養が細胞のひとつ々にいきわたることが大切です

それは食べることを感謝して愉しむこと

感謝して愉しむとはすべてを与えてくださる神と素材となる動植物達に喜んでもらうことなのです

それは食べたものが肉体の隅々にいきわたり心も体も活気づき日々の生活が滞りなく果たせるのです

食べるということは生気をいただくことです

動物や魚・野菜や果物は光と水と空気と大地からの恵みです

それは天地自然からの贈りもの

その命を頂くのですから決して無駄にしてはいけません

食べられる命が食べられてよかったと思われるようなわが身わが心のフルマイとなり食べられてよかったと思えるようなお料理を工夫すること

命をイカシテ食べることが大切なのです

命をイカス工夫とは素材の特性を知り美味しい食べかたを考えてお料理をすることです

素材の持ち味をイカシテ火加減・水加減・塩加減

調味料などの加減を素材に尋ねながらお料理をします

美味しい食べかたは素材に尋ねるのが一番なのです

今日はどんな風に食べてさしあげたらよいのでしょうか

味付けはどうしてほしいの

付け合わせはどれがいいかしら

あなたに合わせた飲み物や器は何にしましょう

お料理は素材との話し合いがまた楽しい作業となります

食べ物は無駄なく使いきること食べきること大切

食べ物は命の細胞のひとつ々

それは神様の現われたスガタのひとつ々

そして人もまた同じ

自分の指や耳を切り取られて無造作に捨てられたらどんな気持ちかしら

ですから疎かに扱うことはできません

とはいえ無理をしてまで食べるのは逆に失礼というものです

自分に見合った量を過不足なくいただくのです

残してしまっても大丈夫

明日また手を加えて食べて上げる

それでよいのです

人も神様からすると素材なのです

素材である自らも神様の喜ぶ食べ物となり神様にいただかれる

それがなによりの命の供養であり魂の滋養となるのです

命の供養が神への感謝となりますように

難しいお料理は料理家の方におまかせするとして

インスタント食材に工夫すると一人でも二人でも美味しく楽しく
ただけます

例えばカップラーメンにタマゴやワカメやほうれん草を入れてみたり

インスタントみそ汁におかかや豆腐

アオサとかシラスなども美味しいわ

ピザの余りにちぎった野菜やふりかけをトッピング

パスタやご飯の残りものにバター・ニンニク・チーズ・トマトを加

えてドリア風にしてみたり

いろいろな工夫をすることは天地を創造すること

食べ物をイカス工夫は神のチカラを受けてその意思を現わすこと
でもあるのです

命の歓びを味わい尽くすことが神様と命への感謝と無常の祈りな
のです

リン

リンはステキだね

キミが言う様に料理をする事・食事をいただく事
の概念が地球では
ひっくり返っているものね

すべては神より与えられしもの
そのものに歓ばれ神に喜ばれるフルマイが本当だね

レイ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8717c/>

トリプルスズ エピソード 3

2010年10月28日08時51分発行